

# 「ススメ ススメ」と「ウミノコワレラ」の 作詞者として

倉 橋 惣 三

今年の夏の日本幼稚園協會戦時保育講習會で發表した私の二つの遊戯歌「ススメ ススメ」に「ウミノコワレラ」には、井上武士氏及び弘田龍太郎氏の作曲、戸倉ハル氏の遊戯動作のお蔭で、立派に飾られた。講習遊戯會場での實習を拜見して、その熱心を作詞者として感謝せずにはゐられなかつた。

この二つとも、作詞の第一動機は、幼児用の運動歌をつくりたいといふことであつた。情操本位のもの、生活描寫本位のもの、或はまた訓育的のもの、それ／＼いゝ歌があるが、また私自身の作詞の中にもあるが、運動歌がほしいと豫て思つてゐた。その試作である。

「ススメ ススメ」には、解釋のしようによつては、天を仰ぎ、地を踏み、前に進むといつた大哲理（？）が含まれるこもいへよう。又私自身の平生のこゝろもちこしての、そ

うした理想主題が、どこかに潜んでゐないさはいへないかも知れない。しかし、それを出さうしたのでもなく、それを主題とした象徴歌をつくらうとしたのでもない。私は元來、幼児教育には象徴主義をあまり用ひたくない主張なので、この歌でも、そうである。たゞ幼児の日常の實際の生活のまゝにして、のび／＼ミ上を向かせ、しつかりミ足をふんばらせ、まつすぐに進ませるだけのことである。その奥に意味がありげだつたら、寧ろ私の作詞上のまついためである。即ちそれよりも、實運動として、更に端的に言つてみれば、幼児の運動感覺としての一ぱいの満喫を、歌ひながらにも存分味はせ得たいのが、私の希望である。そういふ風に歌はせて頂きたいし、そういふ風に踊らせて頂きたい。たゞし、その運動感情上、たゞのび／＼だけでなくそこに天があり、たゞひろ／＼だけでなくそこに地があ

り、たゞまつすぐだけでなくそこに道があるこゝは、號令でなく詩であるつもりである。

「ウミノコ ワレラ」の方は、さこまでも、遊びの動作そのもので、象徴歌になるこゝはないが、「ウミノコ ワレラ」の一句に、國民歌また時局歌の響があつて、たゞの運動動作だけでない感じがある。しかし、これは、歌よりさきに、幼児達もしつかりもつてゐる心なのであり、それによつて、遊びの力も一段さはいはる譯なのであるから、抽象理念が主になるこゝにはなるまい。兎に角く、作詞の第一動機は運動歌としてあつて、遊びに使はれると同じ全身の運動を、手に足に胸に、一ぱいに張り切らせたい。たゞし、これも亦、たゞ手足の運動々作を體操してゐるのでなく、海なり川なり水池なりの實感を以て、さびこませ、およがせ、もぐらせて頂きたい。假りに海國幼兒といふこゝは、この遊戯中一々考へなくとも、海の中、水の中だといふ實感は、決して離れさせたくない。そうでないこゝ、詩のつもりがたゞの號令になつて、折角くこの作詞が、陸にあがつた河童のやうにひからびて仕舞ふ。

こゝで、この歌については、之れだけおこみわりして置けばよいのであるが、われ／＼が、今日の幼兒に運動歌を興へる保育上の本旨そのものについては、いふまでもなく、はつきりした戦時保育の意識から出てる。平素さし

ては、幼稚園の運動歌は、幼兒に運動の快感を興へるこゝミ、のび／＼した發達を促がすこゝミが主目的になつてゐる。戦時下でも、それに變りはないが、もう一つその上に、逞しさといふこゝミがある。身體の強健さにおいても、更に精神、殊に意氣の旺盛さにおいて。

この理由については、今更説明を要しない。しかし、幼稚園從來の憤ひとしては、まださうも繊細優美といふこゝミが主になつて逞しさが足りない觀がある。殊に、藝術的な唱歌遊戯においてそうである。私は、極端なこゝミをいへば喧嘩ごつこまで、唱歌化し、遊戯化するこゝミは出來ないかゝ、時々考へてみる位である。しかし、喧嘩の本氣さ、眞剣さを、觀念化せず、情操化せず、そのありのままに歌にするこゝミは、私のやうなへ々作詞者には出來ない。戦ごつこだつてそうである。たゞ、戦ごつこは、さきも自身にしても、ごつこのすきまごがあるから、そのすきまのある戦争さしては出せるかも知れないが、それにしてもむづかしい。舞臺上のお芝居めいた戦争ごつこ遊戯を、さきもらはなんミ思つてさせられてゐるだらうささへ眺める位である。

そこで、やつこ私にも、あんまりさきもに濟まん氣がないで作れたのが、この二つの單純な運動歌であつた。これ、なんさか戦時幼稚園の遊戯に逞しさを加へるこゝミが

ス ス × ス ス ×

香橋 環王 作詞  
井上 武士 作曲

♩ = 108 拍  
ハキハキト

Piano accompaniment for the first system, featuring a treble and bass clef with various chords and melodic lines.

Vocal line and piano accompaniment for the second system. The vocal line includes the lyrics: ア フ ス ア フ ス ア フ ス ア フ ス ア フ ス ア フ ス ア フ ス ア フ ス ア フ ス ア フ ス. The piano accompaniment includes a *mf* dynamic marking.

Vocal line and piano accompaniment for the third system. The vocal line includes the lyrics: フ ロ ッ ト カ ロ ホ イ ア イ ソ ッ マ テ キ ケ ノ マ ツ シ ャ ノ カ ス ビ リ ク. The piano accompaniment includes *mf* and *f* dynamic markings.

Piano accompaniment for the fourth system, continuing the musical accompaniment with various chords and melodic lines.

# ウミノコワレラ

倉橋徳三作詞  
 田代太郎作曲

♩ = 108

The musical score consists of two systems. Each system has a vocal line with lyrics and a piano accompaniment. The key signature has one sharp (F#) and the time signature is 2/4. The tempo is marked as quarter note = 108.

**System 1 Lyrics:**

一	トビコイ	ヨウイ	ウデラ	ノ	ハン	アン	テ
ニ	あよげ	かよげ	なみ	ま	く	くり	か
三	モグレ	モグレ	イキ	ラ	コ	ラシ	ム

**System 2 Lyrics:**

ハツ	テ	ウ	ミ	ノ	コ	ワ	レ	ラ	チ	カ	ラ	イ	ッ	パ	イ
け	ツ	メ	ウ	ミ	ノ	コ	ワ	レ	ラ	チ	カ	ラ	イ	ッ	パ
ハツ	テ	ウ	ミ	ノ	コ	ワ	レ	ラ	チ	カ	ラ	イ	ッ	パ	イ

出来たらに、自分ひきりで願つてゐる。それで、私が若しこの遊戯の參觀をしたとしたら、形や振りよりも、幼児の全身の力のはいり方を一番に氣にするであらう。幼児のそばへ行つて、腕でも脚でもさはつてみて、その張りを見たいと思ふであらう。

次に之等の歌の曲ミ振ミを御紹介する。

## ススメススメ

隊形。自由な隊形に①生さ②生二人つ  
 つ向き合つて立つ。

前奏。そのまゝきゝ、前奏の終りに二人は互ひに兩手をつなぐ。

### 一節

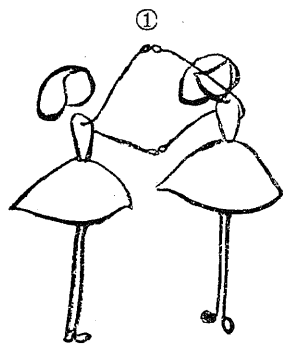
あふげく高くく(八呼間) 圖1

兩手をつないだまゝ、二呼間に一度づゝ片方の手を高く舉げ、トンネルの様に舉つた手の間から、高い空を見上げる。この動作を左右交互に四

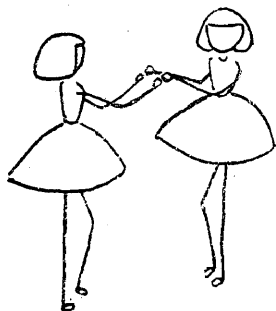
回つらける。

高い空(三呼間) 圖2

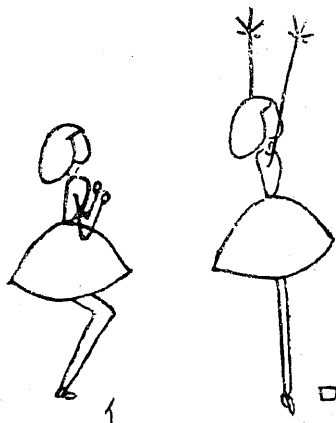
手をつないだまゝ上下に振りながら、しつかり三回足踏みをする。



②



③



二節

ふめよく廣いく(八呼間) 圖4

①生は二呼間に一拍手し、②生は手を腰にさつて二呼間に一回づゝ左右の足を交互に力強く足踏みをする。

次にこの動作を①生②生交代して行ふ。

廣い土(三呼間)

一節の「高い空」を

同様、互ひに向き

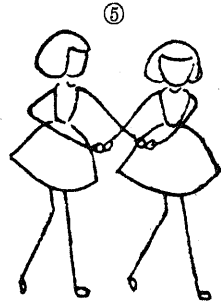
のびくと(八呼間) 圖3

1、①生②生は両手を離し、各人、一呼間に一度づゝ兩臂を曲げ掌を握つて體側につけ、膝を曲げてやゝ屈した後、口、膝を伸ばすゝ同時に兩掌を開きながら兩腕をぐんぐんに擧げる。

之を三回行つた後、兩手を高く擧げたまま後奏が終るまで、掌をキラ〜と振る。

④



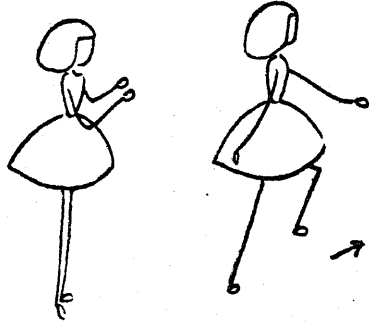


合つたまゝ、兩手を上下に振りながら三回足踏みをする。

しつかりと(八呼間) 圖5

①生②生は竝んで手を横につなぎ、後奏が終るまで自由な方向に歩く。後奏の終りの音と同時に正しく止まる。

⑥



①②生は竝んで手を横につなぎ、後奏が終るまで一拍跳で自由な方向に進む。後奏の最後の音と共に正しく止まる。

三節

すすめく(四呼間) 圖6

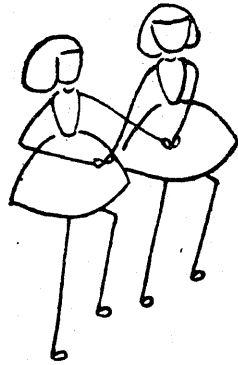
①生は四呼間に自由な方向に一拍跳でゆき、四呼間目に兩足を揃へて止まる。

その間、②生はその位置で拍手をする。

遠いく(四呼間)

①生はその場にて拍手をし、②生は一拍跳で四呼間の中に①生のところまでゆき、四呼間目に兩足を揃へて①生の前に止まる。

⑦



遠い道(三呼間)

一、二節のこの部分と同じ動作をする。

まっすぐに(八呼間) 圖7

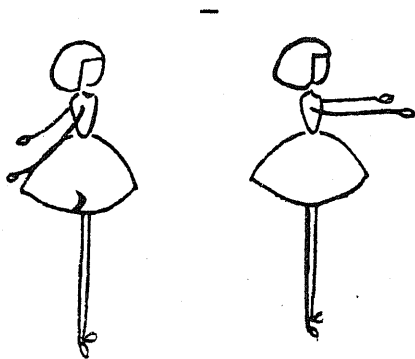
ウミノコ ワレラ

隊形。一列圓形で行ふ。

一節

とびこめ用意(四呼間) 圖一

一同圓心を向き、三呼間に兩手を前、後、前、三振り、四呼間目に兩足を揃へたまゝ兩手を振つて前方に大きく



跳び、ミビこみの動作をする。

腕を伸ばし(四呼間) 圖二

両手を舉げて體前で交叉し、横に大きく擴げながら四歩後退する。

あしをけつて(四呼間) 圖三

両手を腰にミり左右の足を交互に、二回、強く足踏をする。

海の子われらカ一っばい(八呼間) 圖四

全生右を向き、両手をしつかり振りながら圓周に沿つて元氣よく一拍跳ですむ。



二節

八呼間目に兩足を揃へて踏み込んで止まるミ同時に兩手を高く舉げて萬歳をする。

泳げよ泳げ(四呼間) 圖五

圓周に沿つて右を向いたまゝ、上體を少し前傾し、平泳ぎの様に兩手を伸ばして前から横に大きく擴げては體側につけながら四歩前進する。

波をくどり(四呼間)

今の動作をも一度繰り返しながら進む。

水をけつて(四呼間)



三節

もぐれよく息をこらし(八呼間) 圖六

上體を圓くし、頭を突込んで、二呼間に一回つゝ兩手を前に伸ばしては後にかく動作を四回行ひながら圓周上を右に八歩進む。

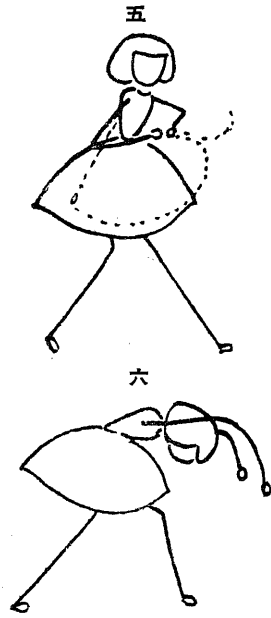
胸をはつて(四呼間)

立ち止つて兩手を腰にまき、強く二回足踏みをする。

海の子我等力一ぱい

一、二節と同じ動作を行ふ。

(一、二、三節共、四小節までの動作は變つてくるが、その後は、同じ動作である。)



そのまゝ止まつて兩手を腰にまき、強く足踏みを二回する。

海の子われら力一ぱい(八呼間)

一節と同じ様の動作を行ふ。

